

室原会だより

Vol. 97

夏号  
令和元年7月

# ふれあい

(題字 室原亥十二)

室原亥十二会長／「こころの謎」  
ドクターズファイル「鈴木 俊二先生」  
第22回菊南病院 院内各部署発表会  
ふれあいア・レ・コ・レ／水前寺高齢者複合施設 創立10周年記念式典 ほか  
地域活動／室原内科・小児科 ハツラツ健康運動教室 募集中！  
短期連載／リハビリテーションの黎明より  
Dr.古庄のサイクリング紀行／Dr.赤星のスポーツと私  
うりほう／グループホームきくなんだより ...and more

## 室原内科・小児科

〒862-0949  
熊本市中央区国府1丁目11番9号  
Tel 096-364-3080 Fax 096-366-4668

## 菊南病院

〒861-5517  
熊本市北区鶴羽田3丁目1番53号  
Tel 096-344-1711 Fax 096-344-1726

## 水前寺高齢者複合施設

〒862-0949  
熊本市中央区国府1丁目3番15号  
Tel 096-364-1210 Fax 096-364-1221

## グループホームきくなん

〒861-5517  
熊本市北区鶴羽田3丁目11番15号  
Tel 096-345-2260 Fax 096-345-2261



新任のご挨拶  
医療法人室原会 菊南病院 診療部

鈴木 俊二 先生

皆様はじめまして。本年4月に赴任いたしました鈴木俊二です。平成4年に熊本大学医学部を卒業し、もともとは総合診療医を目指していたのですが、まずは「手先が不器用」という劣等感コンプレックスを克服するために外科医となりました。しかしお互いに手術の症例数や腕前を競い合う中でいつしか初心を忘れ、気が付けば20年余りも外科医を続けていました。

40台半ばに差し掛かったころによくやく踏ん切りをつけ、とある長期急性期型病院で内科系総合診療医の修業を始めることになりました。話は変わりますが、1年半ほど前に我が家に1匹の犬を迎えました。飼い主さんが高齢のため飼っていることができなくなり熊本市の動物愛護センターに保護されていたのを引き取ったのですが、このようなケースも増えてきているそうです。

日本では急速な人口の高齢化に伴って認知症患者も急増しており、行政や医療が一体となって認知症対策が進められています。「可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう」というアレです。認知症医療については、熊本では県内12か所の認知症疾患医療センターを拠点として、認知症サポート医やかかりつけ医、看護師、精神保健福祉

士などが協力して認知症患者とその家族のサポートを行うシステムが構築されています。しかし一方では、近い将来に年間の死亡者が150万人を超えると言われる「多死社会化」というキーワードが変な方向へ独り歩きして、高齢者や認知症患者に適切な医療を行わないことを正当化する風潮も感じ取れます。少々前置きが長くなりましたが、それまでの急性期病院での外科診療から長期急性期病院へ診療の場を移してすぐに目の当たりにしたのが、以下に述べるような高齢者・認知症患者に対しての医療の現実でした。即ち、経験に頼る診断とエビデンスのない治療、安易に開始されかつ見直されない身体拘束、進捗がないにも関わらず漫然と行われるリハビリテーションなど。患者さんは「住み慣れた地域」や「自分らしい暮らし」に戻ることでもできず徐々に衰えながら日々ベッド上で過ごすだけです。このような状況は前任の病院でもほとんど同じでした。

ジレンマを抱えながらも様々な教材や機会を通して内科の勉強を続けていた時、一人の若い言語聴覚士(残念ながら男性)に出会います。骨折をきっかけに摂食障害を発症し、超急性期病院から1年ほど前に転院してきた高齢女性の患者さんを受け持った時です。TPNを経て半年以

上前から経管栄養となり、覚醒はしているものの長い療養生活で反応は鈍り、四肢体幹に加え顎関節も拘縮気味となり経口摂取どころか開口するのにも困難なその患者さんに、彼は「経口摂取が可能と思う」と言って訓練を開始し、実際その1か月後には経管栄養から離脱できその3か月後に退院できたのです。カッコイイ!

それから私の病棟では看護師・ケアワーカー・セラピストが協力して、摂食嚥下障害の治療に精力的に取り組みむようになります(一応断っておきますが、どこかで聞いた「口から食べるプロジェクト」とは全く関係ありません)。重要なのは難しいリハビリの知識やテクニクではなく、ベッドから離れて誰かと目を合わせて会話しながら食事を楽しむ普通の生活を取り戻す手助けをした、という熱意だったと思います。患者さん達も誰かの父や母やきょうだいであり、またかつては誰かの子供だったので。様々な急性期病院で経口摂取不可能と断定された患者さんやすでに胃瘻造設された患者さんたちが次々と経口摂取できるようになる光景は痛快でした。もちろん、高齢者に限らず特に終末期の患者の医療においては「引き際は大事で、過剰な侵襲を伴う医療を正当な理由なく行うなど論外です。しかしその患者さんが「住み慣れた地域」や「自分らしい暮らし」に戻れることを諦めるのは、充分に考え手を尽くした後でなければならぬと思います。

皆さんも、自分の来世のために徳を積むつもりで高齢者医療に取り組んでみませんか?

母の日/5月



おすしごはん、海の幸茶碗蒸し、エリンギのチーズ揚げ、アボカドサラダ、クレープシュゼット

父の日/6月



生姜御飯、アスパラの肉巻きフライ、とうもろこしの春巻き、鮭の水炊き風、スタッドエッグ、野菜盛り合わせサラダ、フルーツマリネ、

七夕/7月



冷しソーメン、いなり寿司、鮎の塩焼き、南瓜のそぼろあんかけ、フルーツ盛り合わせ、

菊南病院 行事食献立

お品書き

# 第22回 菊南病院 院内各部署発表会

開催日：令和元年6月26日(水)

## 報告



### 演題1 『菊南病院で取り組む医療と介護の連携』 在宅生活につながる心臓リハビリテーション

リハビリテーション部 清崎太浩

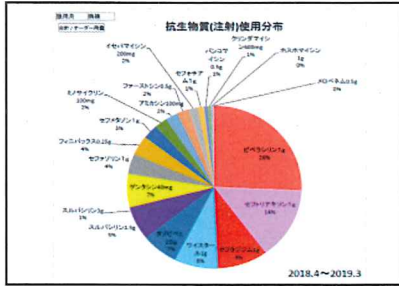
**発表の主な内容**

- ★心臓リハビリテーションとは
- ★菊南病院における心臓リハビリテーションの特徴
- ★入院～退院～通所リハへの連携 (実際の実施事例)
- ★菊南病院の役割 (心リハを通じた地域への貢献)

種々の心臓疾患に対し、再発予防・社会復帰を目指す心臓リハビリテーション。菊南病院では通所リハと連携して社会参加を促し、継続的な心臓リハビリテーションを行うことで心不全の再発をできる限り予防し、質の良い生活を送ることが地域へ貢献することにつながると思われ取り組んでいる。

### 演題2 『院内感染対策委員会』 総括(要約)

看護部介護病棟棟長 徳永由美子



感染委員会において前年度に収集した耐性菌検出率・手指消毒の使用量・抗生物質の使用分布・ICUラウンドの結果等のデータを分析し、改善点を挙げた。今後見える化したデータを元に教育指導をタイムリーに行っていきたい。

### 演題3 『MCSについて』

看護部外来係長 高松恵美



MCS(メディカルケアステーション)とは、医療関連施設のためのソーシャル医療連携プラットフォームで、患者情報を多職種で共有し、いつでもどこでもつながることが出来るサービスである。今後訪問診療や在宅療養が増加していく中で、より強固な連携を得ることが重要になってくる。

### 演題4 『退院後の訪問指導について』

事務部医事課長 問端 圭

**① 退院後訪問指導とは**

菊南病院から退院後1か月以内の患者様が、安心して在宅または施設での療養を継続できるよう、医師の指示により菊南病院の看護師等が在宅または施設を訪問し、療養上の指導等を行うこと。

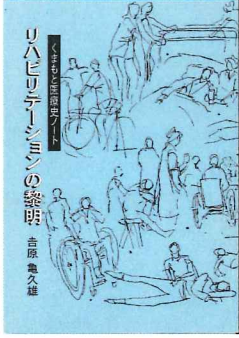
- ・退院から1か月以内5回まで算定可能。
- ・1回の指導で5,800円を算定。

退院後一ヶ月以内の患者様へのケアが有効だったか、また自宅等でもケアを継続できているか? 実際に訪問し、様子を確認して指導するシステム。実際の訪問時の事例から、今後更なるシステムの確立、人手の手配、情報の共有等課題と展望が見えてきた。

要約をご紹介しましたが、今後とも新しい試みを積極的に取り入れ、患者様やご利用者様に「健康」「希望」「やすらぎ」「安心」を提供するという理念を達成すべく切磋琢磨していきたいと思っております。

菊南病院 教育研修管理委員会

短期連載 1  
「くまもと医療史ノート  
リハビリテーションの黎明」より  
吉原亀久雄



この連載は、熊本県におけるリハ医療勃興についてまとめ、一九九七年に熊本新評者より発行されました「くまもと医療史」よりリハビリテーションの黎明」より、菊南病院の創設時の部分を抜粋したものです。快く掲載をご承諾頂きました著者の吉原亀久雄氏に、心より御礼申し上げます。

### 第一章 メディカルリハビリテーションの勃興

#### 内科系で承認施設の第一号

保険医療の身体障害者運動療法(後年の理学療法)がスタートして、まず本県では、先駆けてその承認施設にパスしたのが熊本労災病院(労働福祉事業団「八代市」と、国民健康保険水俣市立病院附属湯之尻病院(水俣市)の二施設であった。昭和四九年(一九七四)二月二日付である。そして、一カ月遅れの三月一日付で承認を獲得したのが四施設ある。

熊大医学部附属病院と市立熊本市民病院、市立荒尾市民病院、それに飽託郡北部町鶴羽田(現在は熊本市鶴羽田)の菊南病院(当時は(医)第一室原会、現在は(医)室原会)がそれであった。そのあと五〇年代に入り八代総合病院(全社連「八代市/五〇年六月)、熊本赤十字病院(日赤県支部「熊本市/五二年四月)の承認が続くことになる。

菊南病院と荒尾市民病院は、三年してその施設承認を返上しているが、菊南病院の場合、承認基準の人的要件である理学療法士の配置が一名で、保健医療の運動療法の基準枠で患者を訓練するには患者が多くて捌ききれないというのが、その理由であった。従って、理学療法士(P.T)が専従していながら、充足していない理学療法と同じ保険医療を選択したのである。黎明期のリハビリテーション医療のP.T不足は、そのように深刻であった。(つづく)

# 水前寺高齢者複合施設 創立10周年記念式典

新元号「令和」に換わる、10日前の平成31年4月20日(土)、水前寺高齢者複合施設に於いて、創立10周年の記念式典が開催されました。

「家族的介護」という介護理念のもと会長の「想い」を支える自治会の方、協力医の皆様、そしてご家族様など70名以上の方々にご出席いただきました。

創立より勤務している4名の職員に永年勤続表彰が送られ、熊本県認知症対策・地域ケア推進課の方より「人生100年時代を生きる」の演題にてご講演をいただきました。

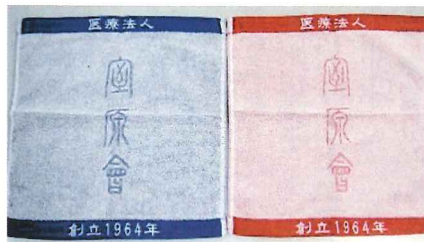
10年を振り返る思い出のスライドショーでは、利用者様と職員が一緒に行った催し物が流れ、懐かしい顔ぶれとたくさん笑顔に10年間の歴史を感じました。

しかし、会長は言います「これが、スタートだ」と・・・

今後も皆で一致協力して、地域に密着したサービスを提供していきます。



式典の様子



記念品のタオル

## 「勤続30年の記念に」

健康管理部 中嶋朋子 副部長



私の趣味は走ることです。夏は山を走るトレイルラン、冬はフルマラソンと年間通じて走っています。今年は菊南病院に入社してちょうど30年節目の年。記念にどこか海外の大会に出てみたいと思いラン仲間の同級生と一緒に、オーストラリアの「ゴールドコーストマラソン(2019.7.7)」に行ってきました。現地は秋で到着時は雨でしたが、マラソン当日は晴れて気温も上がらず最高の天気でした。日本から招待選手の設楽悠太選手(優勝:大会新)や川内優輝選手(13位)の走りを間近で見て大興奮。仲間と写真を撮りながら楽しく完走することが出来ました。また頑張っって働いて、次は定年前に給水でワインが飲めるというフランスのメドックマラソンに行ってみたいなと思っています。

ふれあいア・レ・コレ

## 咀嚼嚥下機能に関する調査協力 (室原内科・ハツラツ健康教室)

熊本保健科学大学 大学院保健科学研究科 リハビリテーション領域からの依頼で、運動教室に参加されている方16名に協力していただきました。

(本研究の目的)

そしゃく機能と嚥下機能の関連性を調査すること

(調査内容)

・租借機能

グミを租借した際の租借能率、咬合力測定機を使用した咬合力の測定、グミ咀嚼時の筋電図測定を実施。

・嚥下機能

反復唾液嚥下テストや水嚥下時の筋電図測定を実施。

・食嗜好のアンケート

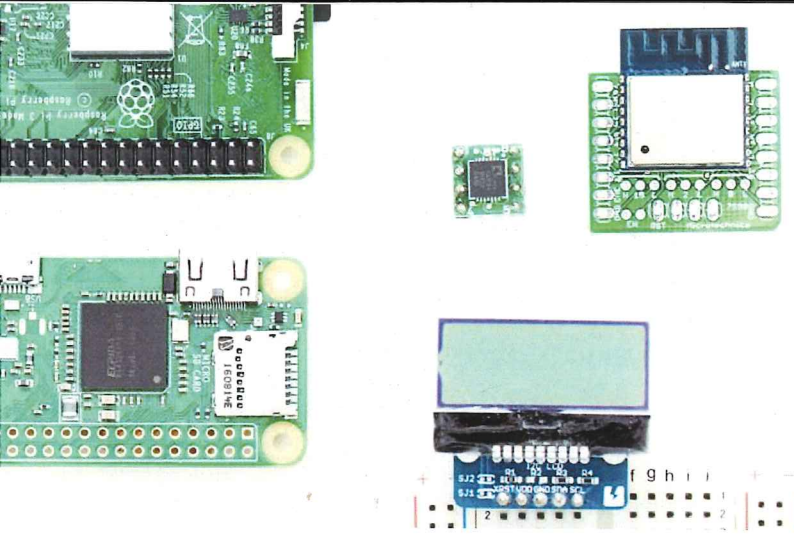
普段よく食べる食材を選んでいただくアンケートを実施。

(所要時間)20~30分

(情報の使用に関して)

- ・調査で得られた情報は研究に使用されます
- ・個人情報を保護し、守秘義務に努めます





# こころの謎

室原会会長 室原 亥十二

こうしている今も数知れぬこころ（意識＝ヒト）が地球上よりいずこかへ消えて行く。死んでゆく。そして新たなこころが生まれてくる。DNAを異にするホモサピエンスに同じこころは宿っていない。

医師は完全な意識喪失を死と診断する。しかし、こころの宿っていた体はしばらく残っている。間もなく灰となり煙となり地上からうせる。

昔の「魂」今いずこ。

1. デカンショ節のデカントは意識があるから「吾」と言った。

2. ゲオテーとは「オレ」のことかとゲオテは言い、彼は死ぬという事実にあらがつても、それは君が苦しむだけだと言った。

3. DNAのクリックは、あなたの存在はニューロンの「塊」にすぎないと言った。さすがに生物の（身）も（心）もDNAより始まっていると言いついてると私は受け取っていない。

こころ（意識）の探求はNCC、感覚意識体験（クオリア）、統合情報理論と枚挙に遑

がない。謎の多い分野ですが、ナゾ・ナゾナニ。いつか解けるもの。いつか解ける時代がくると思っています。100兆と言われる神経回路を流れる電気信号が意識のエネルギー源になっています。従って、理論的には外部に取り出せるわけです。未来学者はコンピュータの進歩とあいまってヒトの今はの際に意識をコンピュータに移すことも21世紀中には可能になると言っている。はじめは、視覚系ではあり得ると思います。私には間に合わないが、例えば私の（人工視覚意識）が焼かれている私の死体を眺めている等、想像するだにおぞましい。進化はどこかで方向を誤ったか。ダーウィンの「自然淘汰」は「意識の進化」には言及していないようです。未来だけでなく宇宙の自然則から見た研究書も多々あります。これは次にします。

参考…

- ①意識の探求（上・下）2006 コッホ
- ②脳と心的世界 2007 ソームズ
- ③スーパーインテリジェンス 2007 ポストロム
- ④脳の意識・機械の意識 2007 渡辺正峰
- ⑤生命の再設計は可能か 2008 バリントン
- ⑥進化論はいかに進化したか 2009 更科功

## 地域活動

# 室原内科・小児科ハツラツ健康運動教室 募集中!

菊南病院 健康運動指導士 小中 幸樹

室原内科・小児科では健康で長生きの為の運動「ハツラツ健康運動教室」を行っております。今までは第2、第4金曜日に実施していましたが今年の4月から毎週金曜日に行うようになりました。利用者の皆様は「健康で長生きの為」「生活習慣の改善の為」「要介護状態にならない為」「ご友人との交流の為」など様々な目的でご利用いただいています。

午前クラス:毎週金曜日 10:00~11:30  
午後クラス:第2、第4金曜日 13:00~14:30  
やさしいクラス(負荷を軽くしています)  
**1回500円 無料体験できます。**  
お気越しく下さい。  
**お問い合わせ:室原内科小児科**  
**☎096-364-3080**

### 運動内容

筋力トレーニング、有酸素運動(エアロビクス)、バランストレーニング、歩行トレーニング(ウォーキング スロージョギング)、動きながら行うストレッチ、脳トレ、止まって行うストレッチ  
脳トレ以外は道具を一切使わずにご自宅でも手軽にできる運動を提供しています。



### こんな声をいただきます♪

運動して体が軽くなった

今日はきついから来たけど運動したらすっきりした

一人じゃなかなか運動しないけど皆とだったらやれる

いい汗かいた!



菊南病院でも毎週月、木曜日に同様の運動教室「こらよか体操」を行っています。ご見学お待ちしております。今後も利用者様の健康の為の運動とコミュニティーの場を提供していき、身体も心も社会的にも良好な状態に近づける支援ができる運動教室を目指していきます。

# ドクター古庄のサイクリング紀行

菊南病院 副院長  
古庄 伸行

## 38. 夏の手強い雑草との戦い



自転車で走っていると、路傍に生えている雑草を眺めながらペダルを漕ぐことがよくあります。四季折々の雑草の中には綺麗な花を咲かせるものも多く、眼の保養にもなりますが、一方、繁殖力が旺盛で歩道や道路に広がってきて自転車走行の邪魔になるものもあります。その代表格的な雑草が、夏に繁茂する「クズ」です。

「クズ」は漢字で書くと「葛」で、その根から取れる粉は「葛湯」や「葛餅」など和菓子の材料として使われていて、奈良の「吉野葛」はその一級品として有名です。また、その成分には消炎・鎮痛の作用があり、漢方薬の中でもお馴染みの「葛根湯（かっこんとう）」の主成分としても珍重されています。しかし、その根から生えるツル性の茎は春になると伸び始め、夏になると辺り一帯を覆い尽くして、そこに植えてある作物を弱らせたり、広場や道路の一部を占領したりと「有害植物」という一面も持っています。

菊南病院の近くでは、隣の「ひでみ保育園」の南側を走る北バイパスの側道で見られ、所によっては歩道の半分以上も覆ってしまいます。この繁殖力は秋まで尽きることなく、8月には所々に藤の花を逆さにしたような房状の花が咲いているのを見かけます。道路の管理者や地域の住民の皆さんが清掃作業などでこの煩わしいツルを取り除くのですが、根絶やしにすることは難しく、冬になるとその姿を

すっかり見かけなくなるのですが、春になると、また茎が伸び始めるのです。歩道を自転車で走りながら、歩道に伸びてきた茎の先端をタイヤで踏みつけて、それ以上伸びてこないように戦うのですが、「クズ」の茎はなかなか手強く、一部はヘビが鎌首をもたげるように伸びてきて、次第に歩道を覆ってくるのです。



(山鹿まで続くサイクリングロードで見かけたクズの花)

DO  
SPORTS

## スポーツと私 運動のすすめ 1



副院長 循環器科  
赤星 隆一郎

これまでスポーツに関する私の経験を書いてきましたが、あと数回お付き合い頂き結論を出したいと思います。私がスポーツ（広い意味での運動も含めて）をどのように考えているかを幾つかのキーワードで述べてみます。

### ①スポーツは楽しい。

当院の職員食堂から菊南温泉団地公園を眺めていると、近くのひでみ保育園の園児たちが芝生の上で遊んでいるのを見かけることがあります。子供たちは思い思いに駆け回ったり、誰かを追いかけたり、斜面を丸太のように横になって転がってみたり実に楽しそうに生き生きと動き回っています。またNHKのEテレで金曜の夕方「Eダンス



哲学者の道から見たハイデルベルクの旧市街

アカデミー」を放映しています。エグザイルの二人のメンバーが子供たちを指導してダンスを踊るのですが、驚くのは子供たちが難しい動作を短時間で上手に覚えることと実に楽しそうに踊っていることです。私は運動の原点はここにあると思います。体を動かすことは楽しく気持ちのよいものなのです。

### ②運動は高度の知的かつ精神的な活動である。

「私は体育会系です」と言う人がいます。謙遜している場合は、思考停止、世間知らずで物事を深く考えない、指導者や目上の人に対する盲目的な服従といった意味合いがあります。長所をアピールする場合は、体力があり根性や精神力に優れている、他人や組織に対して献身的で自己犠牲も厭わないと言ったところでしょう。一般的にスポーツは身体活動であり知能や思考力はあまり必要ないと考えられているようです。私はこれは根本的に間違っていると思います。ウィーンの郊外にハイリゲンシュタットという緑豊かな美しい町があります。ベートーヴェンが交響曲第6番（田園）作曲した所として有名です。彼は自然を愛し毎日の散歩を心の拠り所としたと言われています。ドイツの観光地で古都でもあるハイデルベルクや京都には哲学者の道があります。古来散歩は気持ちを落ち着かせ深い思索や芸術的なインスピレーションを得る方法でもあったのです。

# うりぼう



～ 施設の楽しい行事を紹介します。～

水前寺高齢者複合施設  
小規模多機能 いとし  
グループホーム 鈴の音  
水前寺有料老人ホーム



毎月、ドライブやボランティアさんによる催しなどを企画しております！



バイオリンコンサート

フラダンス

NOSAN オールスターズ ライブ

## ＊ グループホーム きくなん だより ＊

バラ園見学 (フードパル熊本にて)



父の日 (みたらし団子作り)



ホーム菜園収穫



七夕



# ◆外来担当医当番表◆

●急患の方以外全て予約制です

令和元年5月～

菊南病院

		月	火	水	木	金	土
午前	1診	室原	赤星	室原	梅田	赤星	室原
	9:00 }	2診	古庄	堀	古庄	加古	堀(第1.3) 中島(第2.4)鈴木(第5)
	12:00	3診	うねだ 采田	整形外科 前田	鈴木	南	じょうだい 城臺
午後	1診	—	—	室原	室原	堀	
	13:00 }	2診	中島	鈴木	うねだ 采田	鈴木	禁煙外来 古庄
	17:00	3診	南	南	神経内科 14時～17時 守屋(隔週)	—	禁煙外来 赤星

○受付時間：月～金（午前）8:30～11:30まで（午後）12:30～16:30まで  
土（午前のみ）8:30～11:30まで

○休診日：日曜・祝日・年末年始等 ※但し、急患の場合はこの限りではありません。

## 一診療情報一

じょうだい 城臺	呼吸器 ※要予約
守屋	神経内科 ※隔週（事前にご確認下さい）
禁煙外来	毎週金曜日の午後 ※要予約

★都合により受付終了時間が早まる場合がございます。ご了承くださいませ★

令和元年5月現在

## 室原内科・小児科

	月	火	水	木	金	土
午前	室原亥十二 梅田Dr	室原亥十二 梅田Dr	室原亥十二	休診	室原亥十二 梅田Dr	室原亥十二 糖尿病外来 (後藤Dr)
		☆動脈硬化検査 (第1・第3)	高血圧外来 (梅田Dr)		腹部エコー検査 (第4)	腹部エコー検査 (第2)
午後	室原亥十二 梅田Dr	室原亥十二 梅田Dr	室原亥十二	休診	室原亥十二	室原亥十二
		☆動脈硬化検査 (第1・第3)	喘息外来 (宮崎Dr)		心臓外来 (室原良治Dr)	心臓外来 (室原良治Dr)

☆午前8:30～12:00 午後1:30～3:00

●診察日・時間：月～土曜日（木曜日を除く） 午前8:30～午後6:00

●休診日・時間：木曜日・日曜日・祝祭日・年末年始等

## 編集後記

編集長 室原 鈴子

梅雨も明け、いよいよ夏本番となりました。太陽がキラキラとまぶしい季節の到来です。この場をお借りしまして、三十年以上に渡り菊南病院名物のお食事を支えて下さった大御所、森田先生の素晴らしい足跡に、心より拍手を送ります。ふれあい97号、新任の鈴木俊二Drをお迎えして、菊南病院は更に盛り上がっています。貴重なレポートのお言葉、96歳と90歳の超高齢の私共は、感銘深く身に染みしました。今後のご健闘を祈ります。第22回「菊南病院院内各部発表会」は、何れも貴重な得難いリポートばかり、皆さんの琴線にも触れることと思います。

今季より、会長と親しい吉原亀久雄氏の短期連載が始まります。昔を思い出して涙が出ました。掲載にご承諾頂き、心より御礼申し上げます。

「水前寺高齢者複合施設」の創立10周年記念式典が平成31年4月20日に開催されました。当日ご参加頂いた方々、また、お祝い下さった多くの方々のご支援に心より感謝致します。最後の戦と、火の国の男、会長が立ち上げた施設も10年目、月日が経つのは本当に早いものです。

いつも爽やかな人気者、中嶋朋子さんが勤続30年の記念にフルマラソンを完走した体験記、スナックはまるでオリンピックでゴールを切っている様にカッコよく、天晴れ！

読書中毒の会長は、今回は「こころの謎」、少々不気味なお題になりました！

「Dr古庄のサイクリング紀行」も、ご多忙中にも関わらずますます佳境に入り、皆様の知的好奇心を満たして下さいます。有名な奈良の吉野葛。「かつこんとう」のストーリー、興味深く読みました。いつも若々しい赤星Drのスポーツというキーワードの中で、エグザイルのヒップホップのお話。DAPUMPのUSAが大好きな私は、観るとワクワクドキドキして、まだ感性健在!?を誇っております。残念ながら大好きなダンスも足が上からず、悲しい膝痛を嘆く日々、目下筋トレ特訓中です。でもやっぱりダンスグループのリズムが聞こえると、思わず踊りたくなってしまいます。

「うりぼう」「グループホームきくなんだより」もお楽しみください。

「日々行脚 心にしみる 蝉の声」この季節になると、先人の運命に従う厳しさがひびく昨今です。